

第9回キャリア教育 かみいな交流会in伊那市

(旧：産学官交流会)

「モヤモヤ」を「わくわく」へ

「こうなったらいいな。どうしたらいいかな？」 子どもたちや地域のこと

大きな時代の変化の中で、今までのやり方では難しくなったり、一人や一つの組織では解決できなくなったりする子どもたちや地域に関する大きな「モヤモヤ」を抱えていませんか。

この交流会は、そんな思いを多様な人で共有し交流することで、「新たに何かできそう！」「一緒にできる仲間と出会えた」等の「わくわく」につなげていきます。

交流会については、過去8年間で上伊那8市町村をめぐり、多くの出会いの中で「産学官」「小中高大と社会」「8市町村」の連携という大切な信頼関係ができました。2周年を迎える今年度は、さらにその信頼関係をもとに、リアルな話題を本音で語り合い、もっと「わくわく」へ向けて共に歩み出しましょう！

日時

令和4年10月18日（火）

13:00～17:00

場所

いなっせ6階ホール他
オンライン併用（Zoom）

参加者

産学官・地域・保護者等 250名

（子ども・教育・地域づくり関係者、
ご興味ある方はどなたも大歓迎！）

主な内容

トークセッション
ポスターセッション 他

新たな時代に挑戦する素敵なプレゼンター大集合！
話題のアクティブラーニングも楽しく体感しながら、
参加者による出会いと学びの大交流会

※トークセッションは裏面から希望テーマを選択
プログラム詳細は、HP及び事前に連絡

テーマ

子どもDO真ん中

「今 私が できることからはじめよう
ふるさとの未来づくり」

【参加者の声】

「あっと言う間に時間が過ぎて、とても楽しく学べた！」
「異業種の方との出会いは、新しいアイデアにつながった」

【申込方法】 申込締切 10月7日（金）

①右のQRコードから

②「郷土愛プロジェクトHP」より



【問い合わせ先】（事務局）上伊那広域連合 地域振興課（0265-78-2500）

【主催】 郷土愛プロジェクト 【共催】 伊那市教育委員会

【後援】 伊那市、伊那商工会議所、伊那市商工会、（一社）伊那青年会議所、（一社）駒ヶ根青年会議所、上伊那教育会

【トークセッション】志をもって挑戦し続けるプレゼンターとリアルな話題から一緒に考えましょう！



申込フォームから希望するブースを選んでください



テーマ「今 私が できることからはじめよう ふるさとの未来づくり」

	トークテーマ	みんなで考えたいこと	プレゼンター	オンライン可
今、子どもと共に歩む	1 新しい地域とのつながりや企画に子どもと学生も一緒に取り組む。そのマインドとやり方は？	地域は子どもたちの大切な学びの場！では、どんな学びを提供できるのか？を一緒に考えましょう。	平賀 裕子 ワイルドツリー代表/ Public Hub パブハブ代表	○
	2 待ったなし！学校部活動の地域移行のあり方を本気で考えませんか？	地域部活動の指導者を、どのようにして確保すればいいか。そもそもこれからの部活動はどうあったらいいか。様々な立場からの意見やアイデアをお聞きしたい。	横山 英志 飯島町立 飯島中学校校長	
	3 「イエ仕事」「ムラ仕事」って何？人とのつながりの中で生きていく「私」にかかわることかもしれません	昨年のこの会で出された「イエ仕事」「ムラ仕事」という言葉について、感じたこと等を出し合い、考え合うことができたらいいなあとと思っています。	笠原 千俊 伊那市 教育委員会教育長	○
	4 防災から考える、子供参加型の地域コミュニティ	子どもには学校、趣味、SNS等のコミュニティがある中、地域コミュニティに参加できているか？子供も地域を守る一員として捉え、地域コミュニティを考え直してみましよう。	西森 一博 南箕輪村中込区 区長・防災士	
	5 親は我が子の「最強〇〇」！学校、クラブ、塾、家庭…我が子の将来のために親ができることは？	親の我が子への想いは、我が子の未来に繋がっていく・・・「教えて！亜矢子先生」（週刊紙コラム）と一緒に、子育ての悩みの最適解探し＆親子でできるおすすめワークを楽しみましょう！	小島 亜矢子 榊千桜舎/ （一社）こどものみらい舎代表	○
	6 “自分で” 決めるということ	物事を決めるって難しくないですか？子どもたちが進路などを“自分で”決められるようになるためにはどうしたらよいか一緒に考えたいです。	細見 昭 信州大学 助教	
若者（次世代）と共につくる	7 激アツしゃべり場！新しい学びにかける夢 上伊那の高校再編！～2030年の上伊那を見据えて～	高校生の思いや声を真ん中にして、これからの学びや地域の在り方を本気で考えましょう。地域全体が100年に一度の大きな改革期を迎えているのではないのでしょうか。	田畑 和輝 社会保険労務士法人 田畑事務所 （伊那市教育委員）	
	8 「自然環境」を根底に据えた『ふるさと』の未来づくり ～20代の私たちが感じる「危機感」と「希望」～	①暮らし・仕事は自然環境とどのように繋がっているのか ②参加者同士の①はどう関連し合っているのか ③以上を踏まえた『ふるさと』の未来づくりに必要な方針とは	鏡 平 信州大学大学院	○
	9 上伊那で夢を実現したいという若者を共育するために何が出来る？	少子化が進み、上伊那でも就労する若者人材が激減している。上伊那に魅力を感じ、この地で夢を実現したいという人材を輩出するために学校と企業は連携して何をすべきか？	南部 高幸 KOA(株) 人事教育センター/ ゼネラルマネージャー	
	10 新しい学びを受けた若者の主体性や発想を生かす企業経営、製品づくりとは？ 大人が本気で生き抜くことが、子どもたちへ未来を残すこと	ふるさとの新たな産業の在り方と働き方とは？大人はどんな姿を子どもに見せているか？大人の理想の姿とは？	橋爪 良博 ㈱スワニー 代表取締役社長	○
	11 地元の中企業が魅力的な時代に！ 中小企業の強みを強め、弱みを補う 今までになかった新たな組織づくり	なぜ自分の子ども、自分の生徒を大企業に就職させたい傾向があるのか？中小企業に勤める問題点は？どんな問題が解決すれば地元中小企業を若者たちに自信を持って薦めることができるのか？	小林 源吾 （一社）長野ビジネス 塾代表/ 信州ウエスト社長	

(プレゼンターの原文のまま掲載)